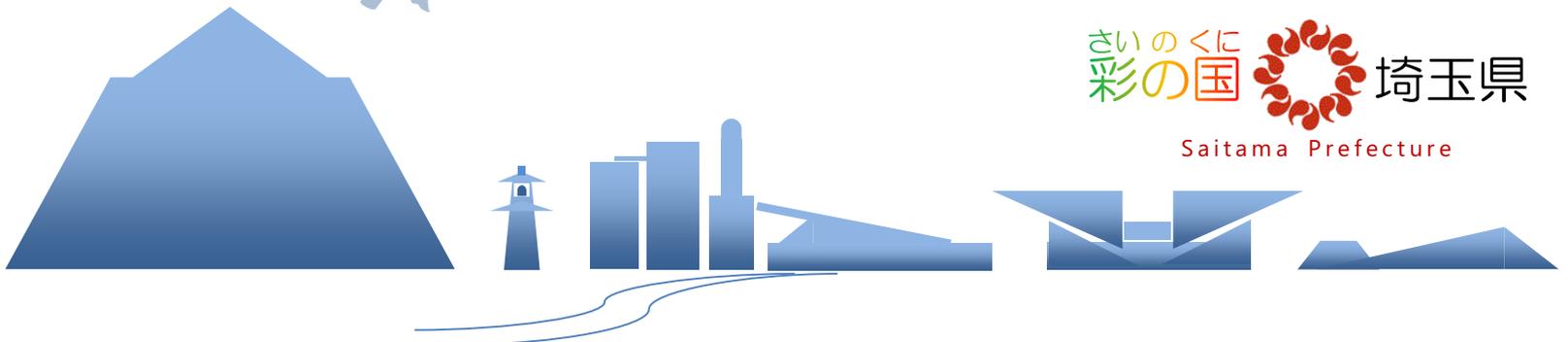




埼玉県の財政状況と 起債運営の基本的な考え方



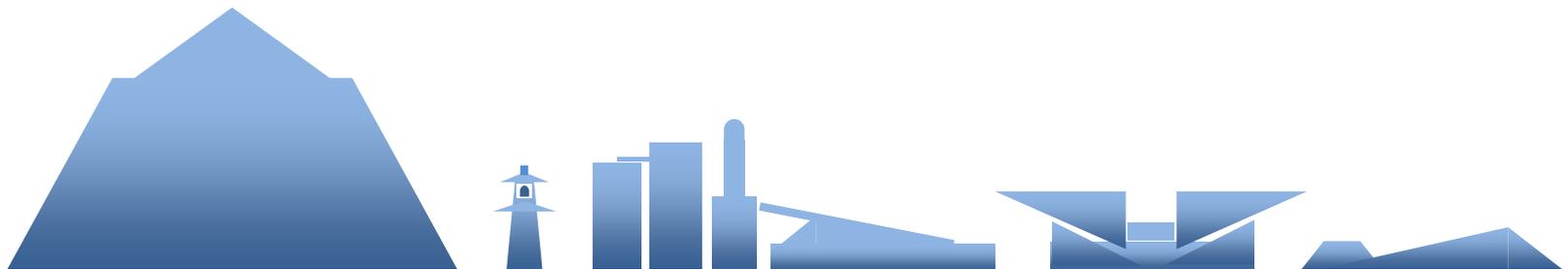
令和4年度合同IR資料



1 埼玉県の概要

2 埼玉県の財政状況

3 起債運営の基本的な考え方



Mt. Buko

Kawagoe Bell Tower
"Toki-no-kane"

Saitama Shintoshin

Saitama Super Arena

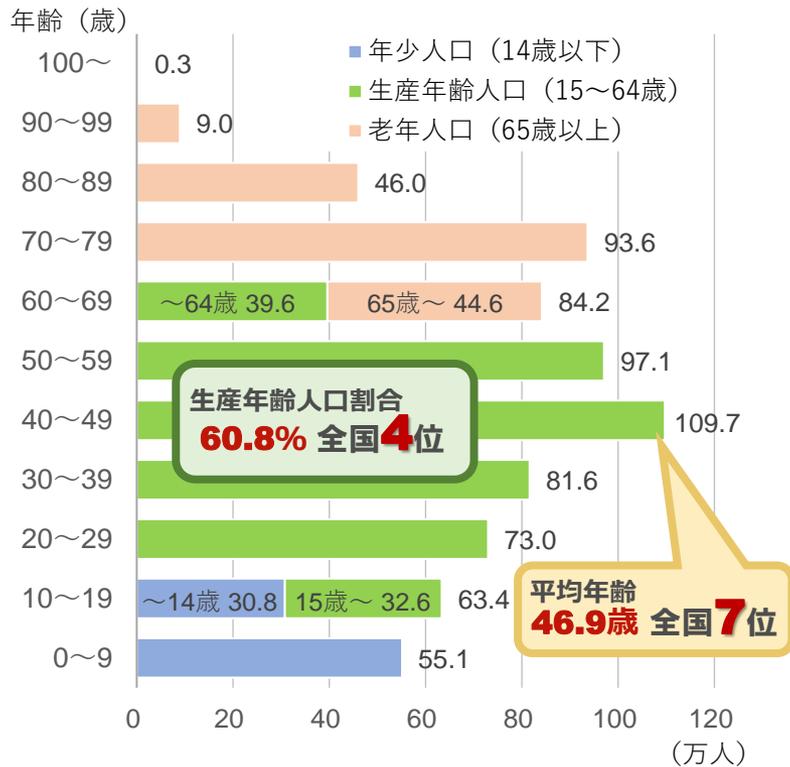
Saitama Stadium 2002

Sakitama Ancient Burial Mounds
"Sakitama Kohun-gun"

若くて豊富な労働力

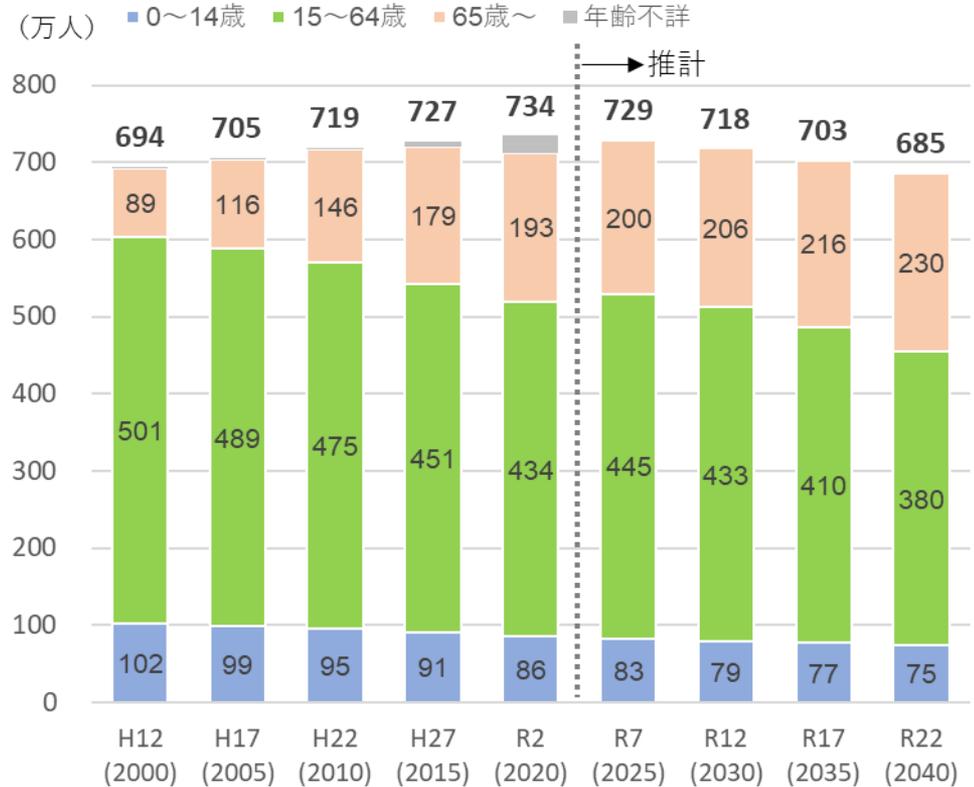
- 平均年齢は**46.9歳**で全国**7位**、生産年齢人口割合は**60.8%**で全国**4位**
- 今後総人口は減少する見通しであるが、令和17年においても**700万人**を維持する見込み

年齢別人口構成比



出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

将来人口の見通し



出典 令和2年までは「国勢調査」(総務省)、令和7年以降は埼玉県推計

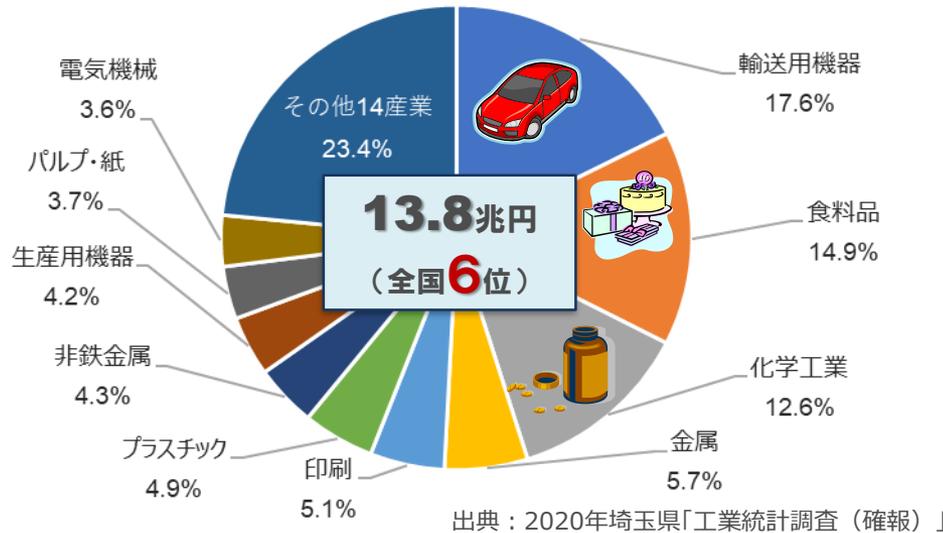
全国有数の内陸工業県

- 大規模工場とそれを支える中小企業が幅広く発達し、多種多様な業種が集積
- 圏央道周辺には**670件**の企業が立地(H17.1~R4.3)、10年間の企業転入超過数は**591件**と全国**2位**

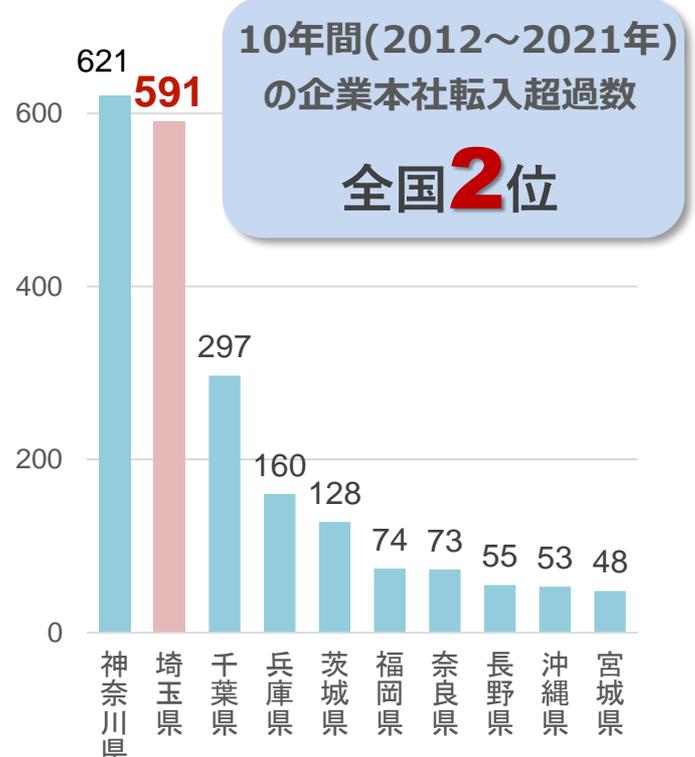
多種多様な業種が集積

本県の産業分類別製造品出荷額等の構成比

※従業員4人以上の事業所



10年間の全国の転入・転出企業の状況



全国有数の工業県

ホンダ、UDトラックスなど
大規模工場とそれをサポートする
中小企業が立地

医薬品製剤

(医薬部外品製剤を含む)

全国**1位**

化粧水

全国**1位**

出典 令和2(20)年経済産業省 「工業統計調査(品目編)」

全国有数の内陸工業県

- 個々の企業の立地ニーズにきめ細かく対応し、全県を挙げて企業立地をバックアップ
- 17年間の取組により立地件数は**1,247件**、約**39,000人**の新規雇用を創出

埼玉県の企業誘致の取組実績

(平成17(2005)年1月～令和4(2022)年6月)

立地件数 **1,247件**
 投資総額 **約2兆274億円**[※]
 新規雇用 **38,810人**[※] (※立地企業の計画ベース)

● 県内の立地企業

(立地企業の計画ベース)

H30 中村屋武蔵工場



H27UDトックス新社屋



H27
 センジョ-狭山PDセンター

H27パルタクRDC関東



今後の取組

～企業誘致Soul-Saitama戦略の展開～

- **地域との共生や地域の持続的発展**に取り組む企業の誘致
- **企業誘致活動の全国展開強化**
 (オンライン立地相談の実施など)
- **オール埼玉で誘致活動を推進**

ワンチームRich埼玉



次世代産業・先端産業の育成

- 我が国を代表する研究機関や大学が集積し、高度な技術を有する人材が豊富
- その利点を活かし、産学官の連携による新技術・新産業の創出を進める
- ポストコロナを見据え、県内企業の稼げる力につながる技術開発等を支援することで先端産業を育成

約270の研究機関・大学等が集積

- ◆ 産学官連携の共同研究を進める「産業技術総合センター」や国際的研究機関である「理化学研究所」など約210の研究機関が集積
- ◆ 「埼玉大学」「早稲田大学」「ものづくり大学」など本県にキャンパスをおく大学、短大は全部で56校



SKIPシティ外観

さらに進出が進む大学・研究機関

- ◆ 北の玄関口・本庄市の「本庄早稲田国際リサーチパーク」には早稲田大学環境系大学院が設置
- ◆ 南の玄関口・川口市の「SKIPシティ」には県産業技術総合センター、彩の国ビジュアルプラザなどの映像関連施設が整備

次世代産業・先端産業支援の推進

- ◆ **デジタルテクノロジーの活用・実証支援**
 - ・ AI・IoT・ロボットシステム導入の先進事例創出、発信
 - ・ デジタル技術を活用した製品の開発、実証支援
- ◆ **農大跡地等の活用の推進**
 - ・ 先端産業・次世代産業などの成長産業を集積するため、ロボット開発を支援する実証フィールド等を整備

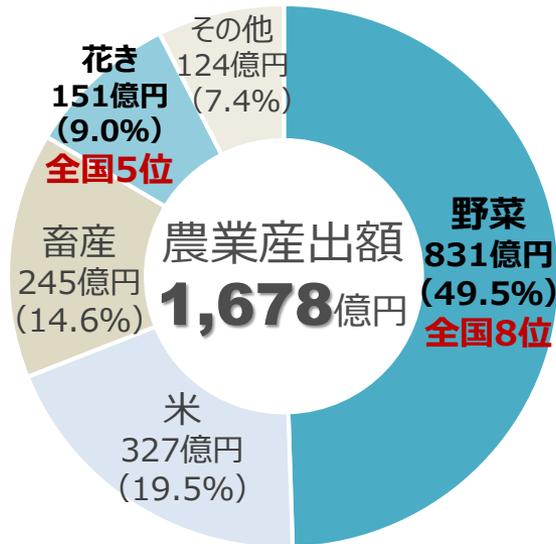


農大跡地及び周辺地域

意外と強い農業県埼玉

- 巨大なマーケット(首都圏)に位置するという強みを活かして力のある農業を実現
- 令和2年の農業産出額は1,678億円(全国20位)で、野菜は全国**8**位、花きは全国**5**位

埼玉県の農業産出額(令和2(2020)年)



出典：農林水産省「生産農業所得統計」

花き **151**億円 (全国**5**位)

品目	産出額	全国順位
パンジー	5億円	1位
チューリップ(切花)	3億円	2位
洋ラン類(鉢物)	35億円	3位
ゆり	22億円	3位



野菜 **831**億円 (全国**8**位)

品目	産出額	全国順位
さといも	47億円	1位
ねぎ	188億円	1位
ほうれんそう	79億円	2位
こまつな	36億円	2位
かぶ	14億円	2位
きゅうり	117億円	4位
ブロッコリー	38億円	4位
えだまめ	33億円	4位
はくさい	16億円	4位



小麦 **7**億円 (全国**5**位)



清酒の出荷量 全国**4**位 (令和3年)

出典：日本酒造組合中央会「清酒課税移出数量調」

多彩な観光資源

■ 東京のすぐ北に位置し、交通の便も良い埼玉県には、魅力的な観光コンテンツが豊富

ひきままつり
日本三大曳山祭の
ちちぶまつり
「秩父夜祭」(12/2, 3)



ライン下り、アウトドアと
ながとろ
天然氷かき氷の「長瀬」



2014年「和紙」ユネスコ
無形文化遺産登録
ほそかわし
『細川紙』

2012年国宝指定
めぬましようでんざん
「妻沼聖天山」



アニメ「らき☆すた」の聖地
わしのみや
「鷲宮神社」



入館者1000万人突破の
「鉄道博物館」と、
2017年世界盆栽大会
会場「大宮盆栽美術館」



こま
高麗郡建郡1300年と
曼珠沙華の「日高」



2016年「山・鉾・屋台行事」
ユネスコ無形文化遺産登録
『秩父祭の屋台行事と神楽』
『川越氷川祭の山車行事』



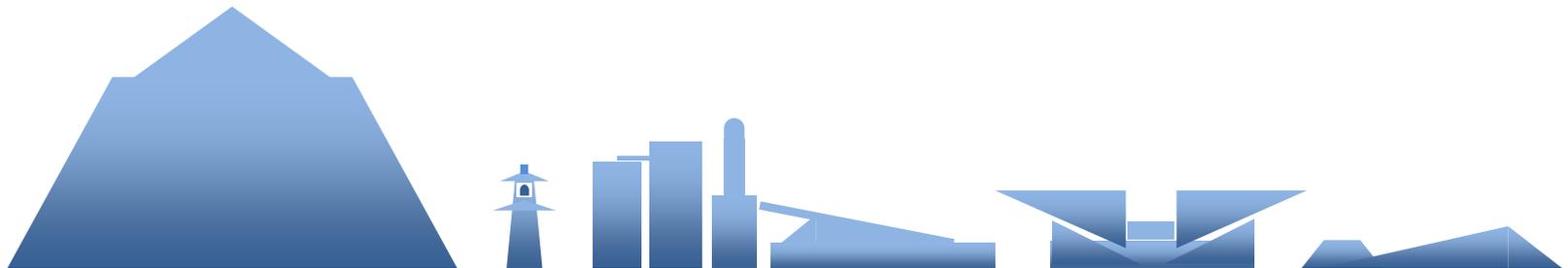
蔵の町並み、菓子屋横丁等
伝統的な街並みが残る
小江戸「川越」

出所：川越市観光課（令和元年）

1 埼玉県の概要

2 埼玉県の財政状況

3 起債運営の基本的な考え方



Mt. Buko

Kawagoe Bell Tower
"Toki-no-kane"

Saitama Shintoshin

Saitama Super Arena

Saitama Stadium 2002

Sakitama Ancient Burial Mounds
"Sakitama Kohun-gun"

埼玉県の財政規模

～令和3(2021)年度普通会計決算～

- 令和2年度の「財政規模」は全国8位。「財政力指数」(1を超えると普通交付税の不交付団体)は全国6位
- 「財政調整基金等残高」(いざという時への備え)は全国9位
- 「財政調整基金等」のほか、福祉や産業振興など、特定目的のための基金を積立てて毎年度活用

令和3年度決算

財政規模(歳出決算額)	財政力指数	財政調整基金等残高	基金残高合計
2兆4,993億円(+4,047億円)	0.74351(▲0.02673)	1,125億円(+621億円)	2,327億円(+773億円)

(参考) 令和2年度決算での他都道府県との比較

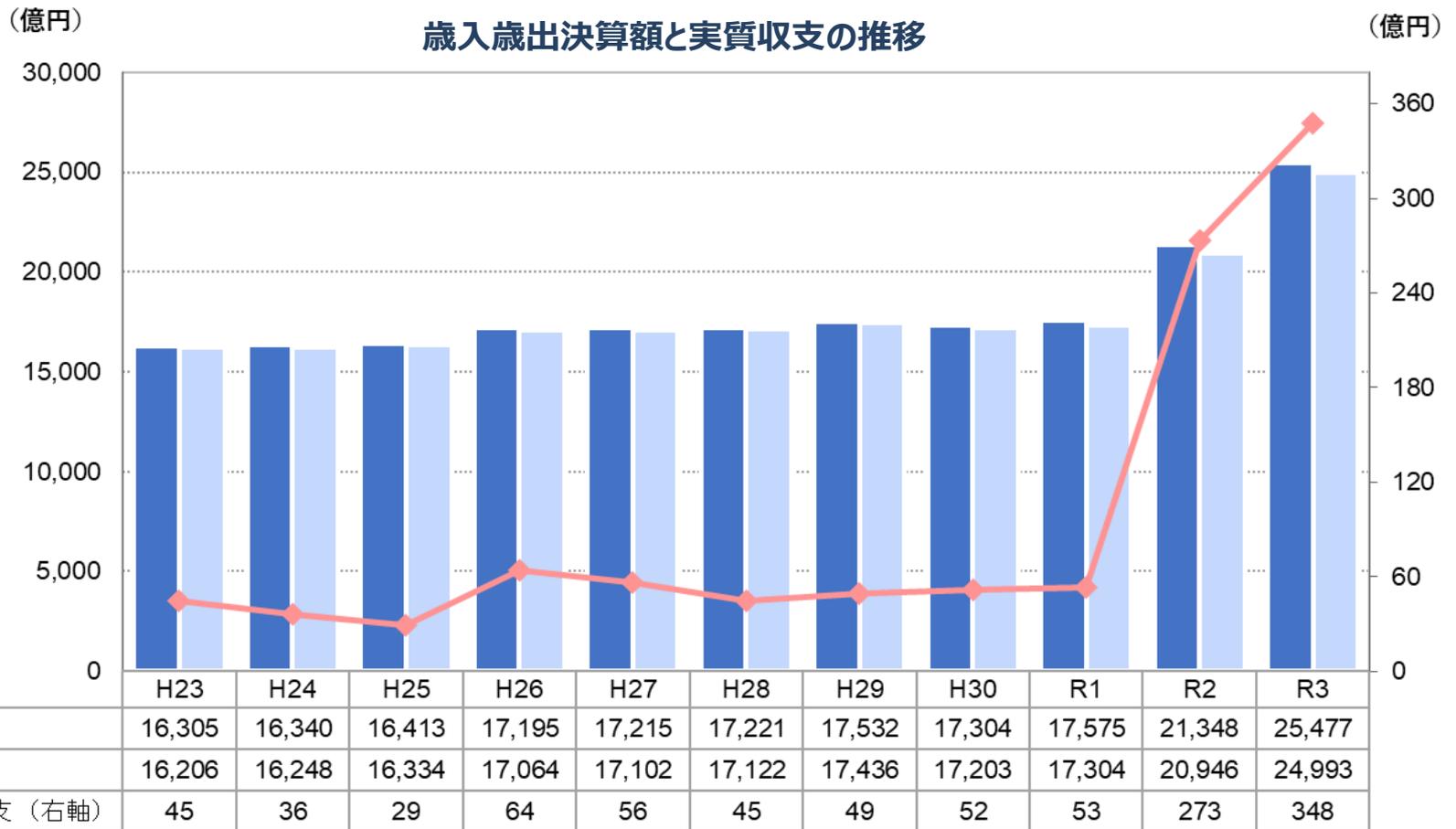
順位 (R1)	都道府県 名	金額	順位 (R1)	都道府県 名	値	順位 (R1)	都道府県 名	金額	順位 (R1)	都道府県 名	金額
1	(1) 東京都	8兆6,095億円	1	(1) 東京都	1.15019	1	(1) 東京都	5,327億円	1	(1) 東京都	2兆2,417億円
2	(2) 大阪府	3兆7,335億円	2	(2) 愛知県	0.91216	2	(2) 愛知県	1,954億円	2	(2) 福島県	5,832億円
3	(3) 北海道	3兆1,001億円	3	(3) 神奈川県	0.88898	3	(3) 大阪府	1,927億円	3	(3) 大阪府	3,188億円
4	(6) 兵庫県	2兆6,074億円	4	(4) 大阪府	0.79157	4	(4) 神奈川県	1,144億円	4	(4) 愛知県	2,736億円
5	(4) 愛知県	2兆5,574億円	5	(5) 千葉県	0.77845	5	(5) 千葉県	904億円	5	(5) 千葉県	2,441億円
6	(5) 神奈川県	2兆3,401億円	6	(6) 埼玉県	0.77024	6	(6) 茨城県	778億円	6	(7) 神奈川県	1,907億円
7	(8) 千葉県	2兆1,618億円	7	(7) 静岡県	0.72648	7	(14) 福島県	634億円	7	(6) 宮城県	1,669億円
8	(7) 埼玉県	2兆 946億円	8	(9) 福岡県	0.65820	8	(7) 長野県	536億円	8	(9) 埼玉県	1,554億円
9	(9) 福岡県	2兆 182億円	9	(8) 茨城県	0.65584	9	(13) 埼玉県	504億円	9	(8) 奈良県	1,516億円
10	(10) 福島県	1兆4,050億円	10	(12) 兵庫県	0.64914	10	(15) 沖縄県	502億円	10	(10) 広島県	1,280億円

※財政調整基金と減債基金の合計

※左の財政調整基金等残高を含む

決算収支の状況 ～令和3(2021)年度普通会計決算～

- 令和3年度の決算額は歳入歳出ともに**過去最大規模**
- 実質収支は348億円と**黒字額が大幅に拡大**



令和3(2021)年度歳入決算(普通会計)

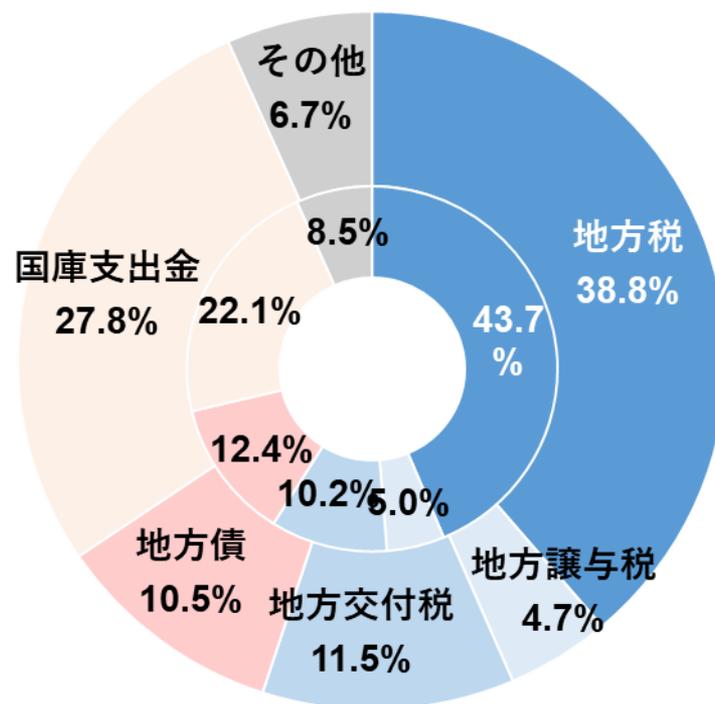
- 令和3年度の歳入決算額は、新型コロナウイルス感染症対策のため国庫支出金が大幅に増加したことなどにより、対前年度4,129億円の増(+19.3%)
- 地方税は企業業績の好調による法人二税の増収や地方消費税の税率引き上げの影響などにより、対前年度550億円の増(+5.9%)

歳入の内訳

(単位：百万円、%)

歳入	R3	R2	対前年度 増減額	対前年度 増減率
地方税	987,711	932,703	55,008	5.9
うち個人県民税	302,270	297,262	5,008	1.7
うち法人二税	176,431	156,456	19,975	12.8
地方譲与税	120,612	107,486	13,126	12.2
地方特例交付金	5,503	5,919	▲416	▲7.0
地方交付税	293,035	217,895	75,140	34.5
交通安全対策特別交付金	1,631	1,712	▲81	▲4.7
分担金及び負担金	3,933	3,150	783	24.9
使用料及び手数料	33,375	34,987	▲1,612	▲4.6
国庫支出金	708,573	471,202	237,371	50.4
財産収入	8,549	11,306	▲2,757	▲24.4
寄附金	448	624	▲176	▲28.2
繰入金	24,253	32,162	▲7,909	▲24.6
繰越金	40,254	11,187	29,067	259.8
諸収入	51,593	40,607	10,986	27.1
地方債	268,227	263,894	4,333	1.6
合計	2,547,697	2,134,834	412,863	19.3

歳入構成比(外側：R3、内側：R2)



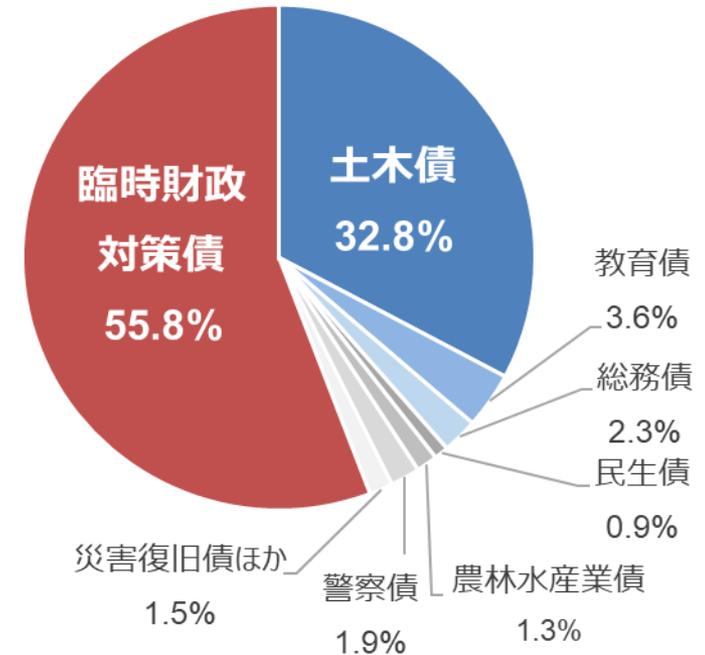
※ 地方税は、清算後の地方消費税を含む

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

埼玉県債の充当事業（一般会計）

令和3（2021）年度一般会計決算 県債発行額の内訳

科目	具体的な用途の例	発行額 (億円)
土木債	道路、河川、公園等	868
教育債	県立高等学校、県立特別支援学校等	95
総務債	県有施設整備、防災行政無線高度化、 低公害車整備等	60
民生債	老人福祉施設整備、 心身障害児（者）援護施設等整備等	24
農林水産業債	農業基盤整備、林道、治山等	36
警察債	警察署庁舎、交通安全施設整備等	49
災害復旧債ほか	災害復旧、水道用水供給事業出資金等	39
臨時財政対策債	—	1,476
合計		2,646



※ 市場公募債資金以外を含む

※ 上記は新発債を対象としており、借換債は含まない

※ 科目は一般会計上の区分を準用

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

令和3(2021)年度歳出決算(普通会計)

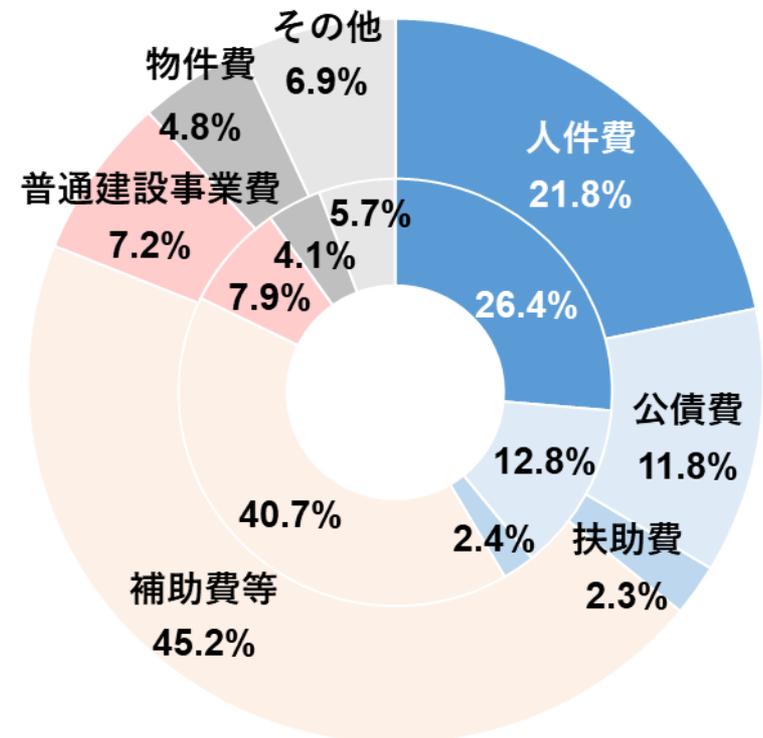
- 令和3年度の歳出決算額は、対前年度4,048億円の増(+19.3%)の2兆4,993億円
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、補助費等が対前年度2,764億円の大幅増(+32.4%)

歳出の内訳

(単位：百万円、%)

歳出	R3	R2	対前年度 増減額	対前年度 増減率
人件費	544,567	552,079	▲7,512	▲1.4
うち職員給	408,479	411,712	▲3,233	▲0.8
物件費	121,081	85,352	35,729	41.9
維持補修費	14,714	14,712	2	0.0
扶助費	57,391	50,485	6,906	13.7
補助費等	1,128,641	852,288	276,353	32.4
普通建設事業費	179,696	166,375	13,321	8.0
うち補助事業費	81,728	66,796	14,932	22.4
うち単独事業費	83,973	85,779	▲1,806	▲2.1
災害復旧事業費	1,612	8,783	▲7,171	▲81.6
失業対策事業費	-	-	-	-
公債費	296,146	268,361	27,785	10.4
積立金	95,370	36,901	58,469	158.4
投資及び出資金	4,489	3,862	627	16.2
貸付金	9,507	8,051	1,456	18.1
繰出金	46,121	47,331	▲1,210	▲2.6
合計	2,499,336	2,094,580	404,756	19.3

歳出構成比(外側:R3、内側:R2)



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

令和3（2021）年度公営企業会計決算の状況

- 令和3年度決算は全ての企業会計において**黒字**を計上
- 令和2年度の工業用水道事業は施設の撤去費用の損失計上、水道用水供給事業は霞ヶ浦導水事業からの撤退に伴う損失計上したことにより**赤字**となった

（単位：億円）

		工業用水道事業		水道用水供給事業		地域整備事業		流域下水道事業		総合リハビリテーションセンター病院事業	
		令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)
損益	総収益	19	18	444	499	44	145	493	491	55	-
	総費用	19	20	423	517	43	129	472	460	45	-
	純損益	0.3	▲ 2	22	▲ 18	1	16	22	32	10	-
	累積欠損金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
資本的 収支	資本的収入 (純計)	2	3	77	62	15	17	209	256	8	-
	うち企業債	-	-	26	22	-	-	51	65	1	-
	資本的支出	5	8	284	258	96	182	264	310	4	-
	差引不足額	▲ 4	▲ 5	▲ 208	▲ 196	▲ 81	▲ 165	▲ 55	▲ 54	4	-
資金不足比率		なし	-								

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

令和3(2021)年度地方三公社等の経営状況

- 地方三公社(土地開発公社、道路公社、住宅供給公社)は**黒字**で健全経営
- 埼玉高速鉄道(株)は、平成27(2015)年度に開業以来初めての黒字を達成し、以降**7期連続で黒字**

(単位：億円)

												
		土地開発公社		道路公社		住宅供給公社		埼玉高速鉄道(株)		(独) 病院機構		
		令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和2年度 (2020)	
出資 状況	県出資金	1	1	111	119	0.4	0.4	0.5	0.5	178	-	
	県出資比率	100.0%	100.0%	94.0%	96.5%	100.0%	100.0%	49.3%	49.3%	100.0%	-	
貸借 対照表	資産	流動資産	55	64	58	31	72	62	119	126	266	-
		固定資産	12	10	346	377	193	203	596	579	874	-
		資産合計	67	74	404	409	265	264	715	705	1,141	-
	負債	流動負債	5	5	22	5	30	32	35	32	708	-
		固定負債	28	35	82	60	60	62	440	453	234	-
		特別法上の引当金等	-	-	180	218	-	-	-	-	-	-
		負債合計	33	40	284	283	90	94	475	485	942	-
	資本 (純資産)	資本金	1	1	118	124	0.4	0.4	1	1	178	-
		剰余金等	33	33	2	2	175	170	328	219	20	-
		資本(純資産)合計	34	34	120	126	176	170	239	220	198	-
	負債・資本(純資産)合計	67	74	404	409	265	264	715	705	1,141	-	
損益 計算書	営業損益	0.6	0.1	0.1	0.2	5	4	25	20	48	-	
	経常損益	0.5	0	0.1	0	5	5	23	17	19	-	
	当期損益	0.3	0	0.1	0	5	5	20	11	19	-	

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

令和4(2022)年度当初予算

全会計当初予算 **3兆6,456億円**(対前年度 **4.1%増**)

～ 新たな150年に向けた挑戦～

直面する危機からの脱却

新型コロナウイルス感染症の
拡大防止

社会全体のDXの推進と
ウィズコロナ下での経済回復・成長

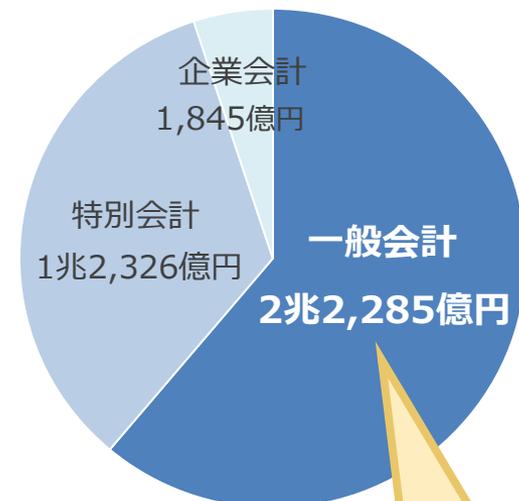
日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

安心・安全の追究

誰もが輝く社会

持続可能な成長

会計別の内訳



過去最大

一般会計当初予算額の推移

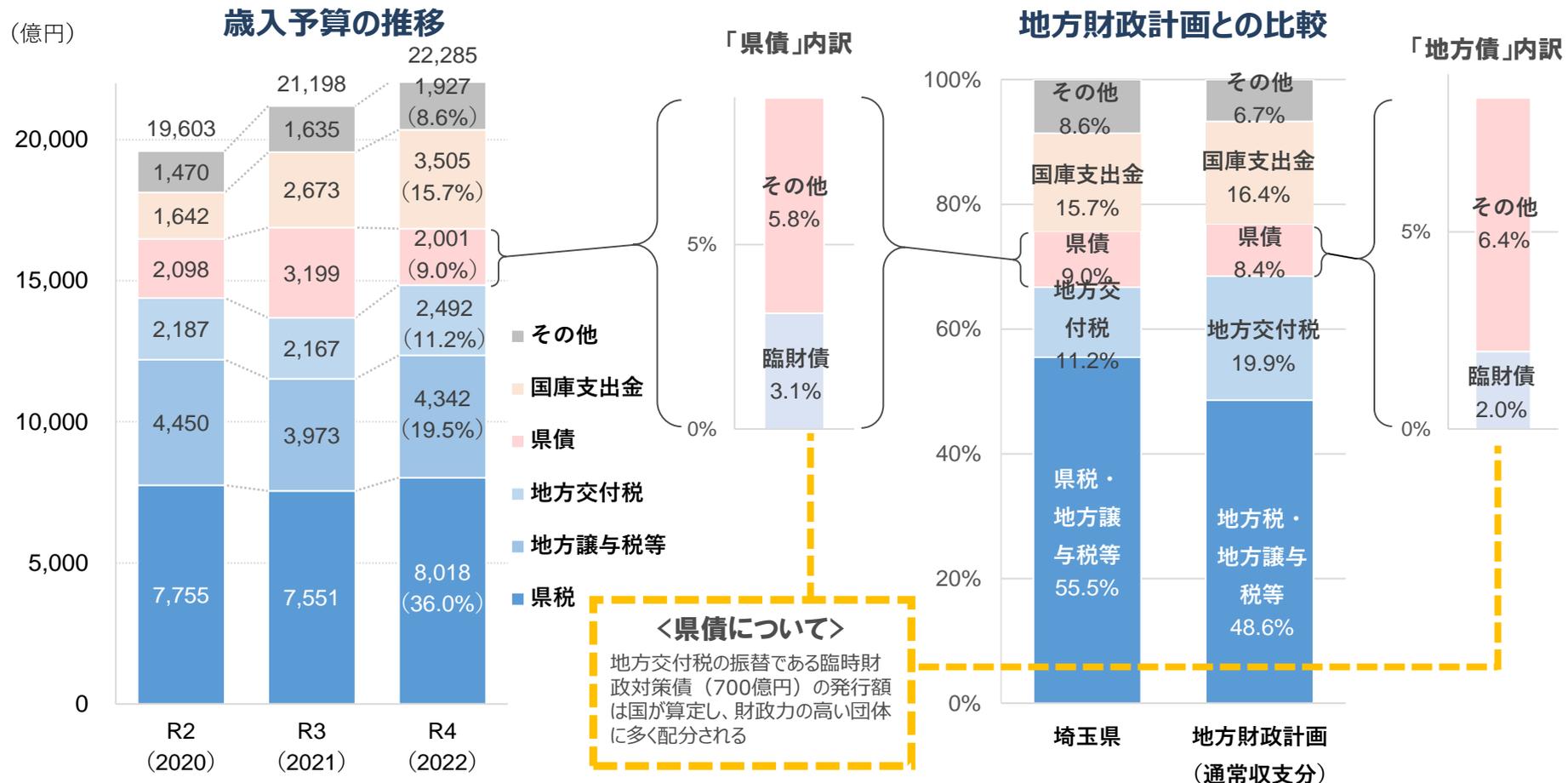
(単位：億円)

	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
一般会計 当初予算額	16,757	17,299	18,290	18,805	18,644	18,658	18,885	19,603	21,198	22,285
伸び率(%)	▲0.1	3.2	5.7	2.8	▲0.9	0.1	1.2	3.8	8.1	5.1

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と計算結果が一致しない場合がある

令和4(2022)年度一般会計予算(歳入)

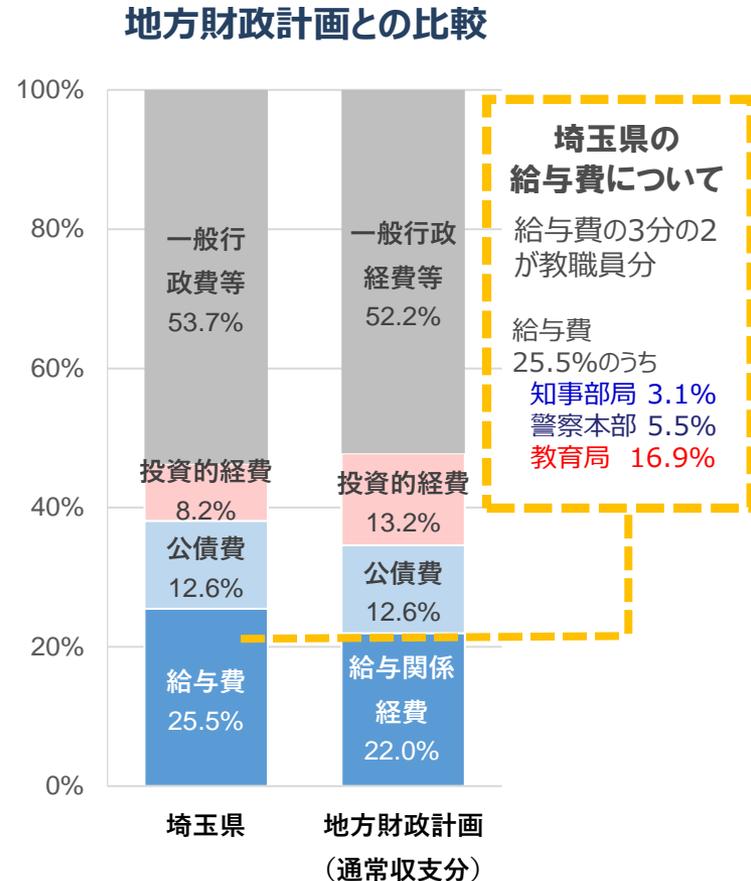
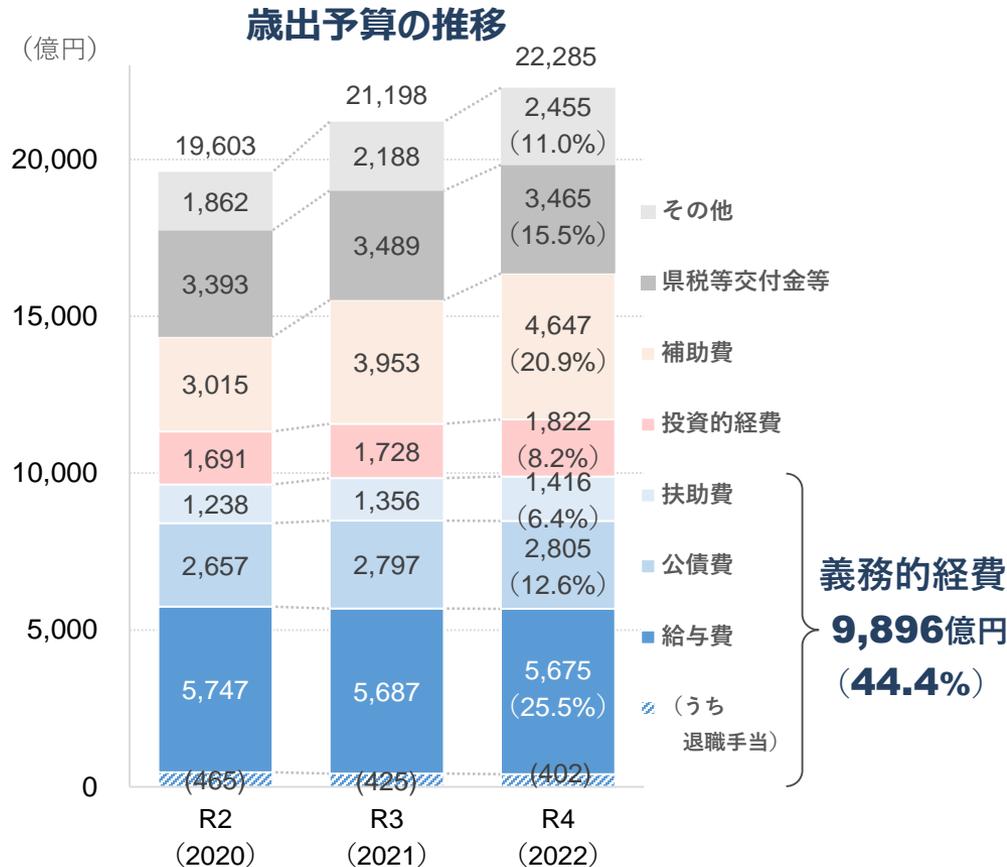
- 県税は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減収を見込んでいた令和3年度と比べ法人二税、個人県民税などで増収を見込んでおり、対前年度467億円の増(+6.2%)
- 県債は、臨時財政対策債が大幅に減少したことから、対前年度1,198億円の減(▲37.4%)



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

令和4(2022)年度一般会計予算(歳出)

- 新型コロナウイルス感染症対策経費の増加などにより、歳出予算全体で対前年度1,086億円の増(+5.1%)
- 投資的経費は、平成18年度当初予算以降最大となる1,822億円を計上。新たな特別支援学校の整備や児童相談所の整備、県立学校の大規模改修など県単独事業が増加したことなどにより、対前年度94億円の増(+5.4%)
- 補助費は、新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の強化、介護保険や後期高齢者医療など社会保障関連経費の増加などにより、対前年度694億円の増(+17.6%)

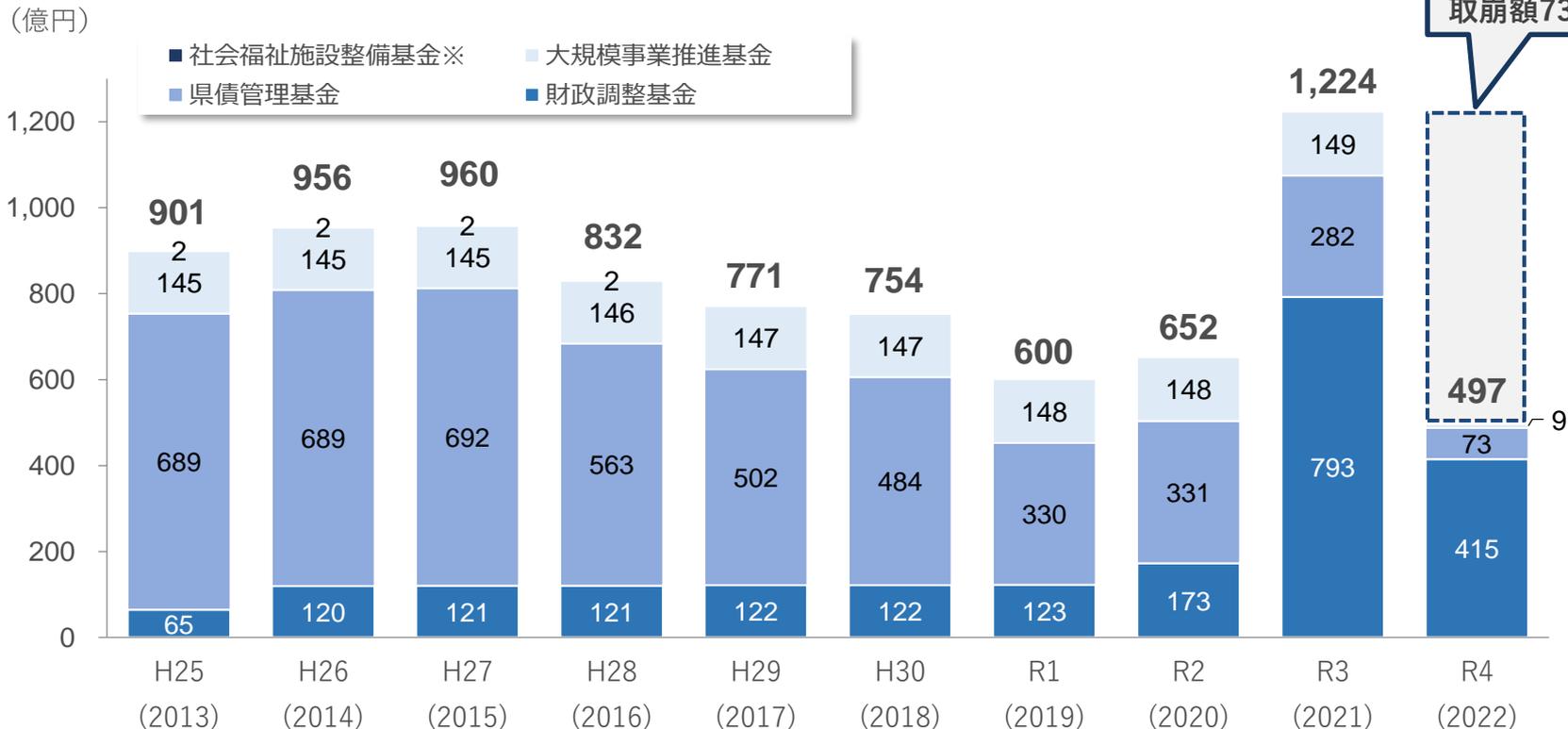


※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

財政調整3基金残高の推移

- 財政調整3基金残高は、平成27年度までは900億円台を維持
- 平成28年度以降は減少傾向が続いていたが、令和2年度に増加に転じ、令和3年度は1,224億円まで回復
- 令和4年度当初予算では730億円を取り崩し、令和4年度末残高は497億円となる見込み

財政調整3基金残高の推移



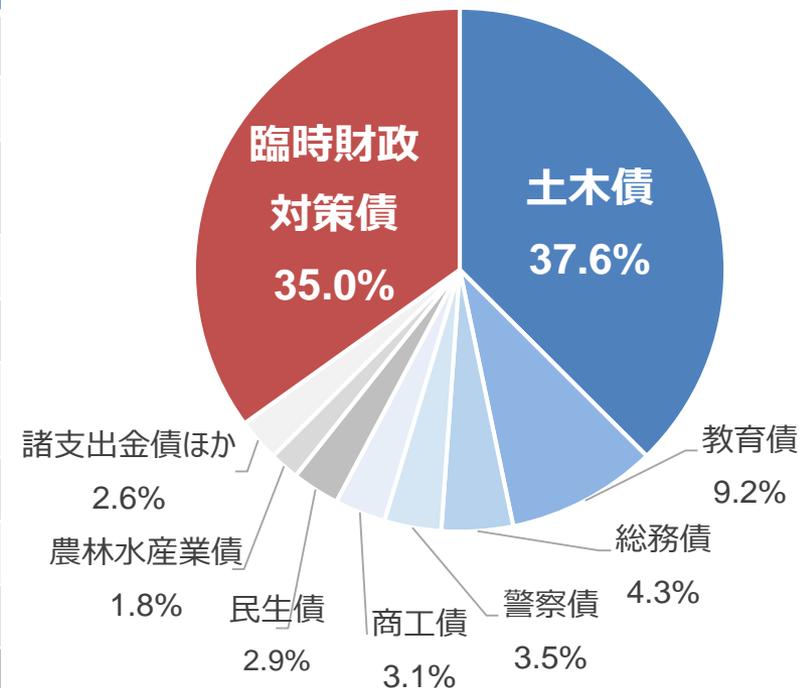
※ 社会福祉施設整備基金はH29に廃止

※ R2まで決算ベース、R3は2月補正予算ベース、R4は当初予算ベース。表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

埼玉県債の充当事業（一般会計）

令和4（2022）年度一般会計予算 県債発行額の内訳

科目	具体的な用途の例	発行額 (億円)
土木債	道路、河川、公園等	752
教育債	県立高等学校、県立特別支援学校等	184
総務債	県有施設整備、身近な緑公有地化、 低公害車整備等	87
警察債	警察署庁舎、交通安全施設整備等	69
商工債	産業文化センター施設整備等	62
民生債	児童相談所整備、老人福祉施設整備 心身障害児（者）援護施設等整備等	58
農林水産業債	農業基盤整備、林道、治山等	36
諸支出金債ほか	水道用水供給事業出資金等	53
臨時財政対策債	—	700
合計		2,001

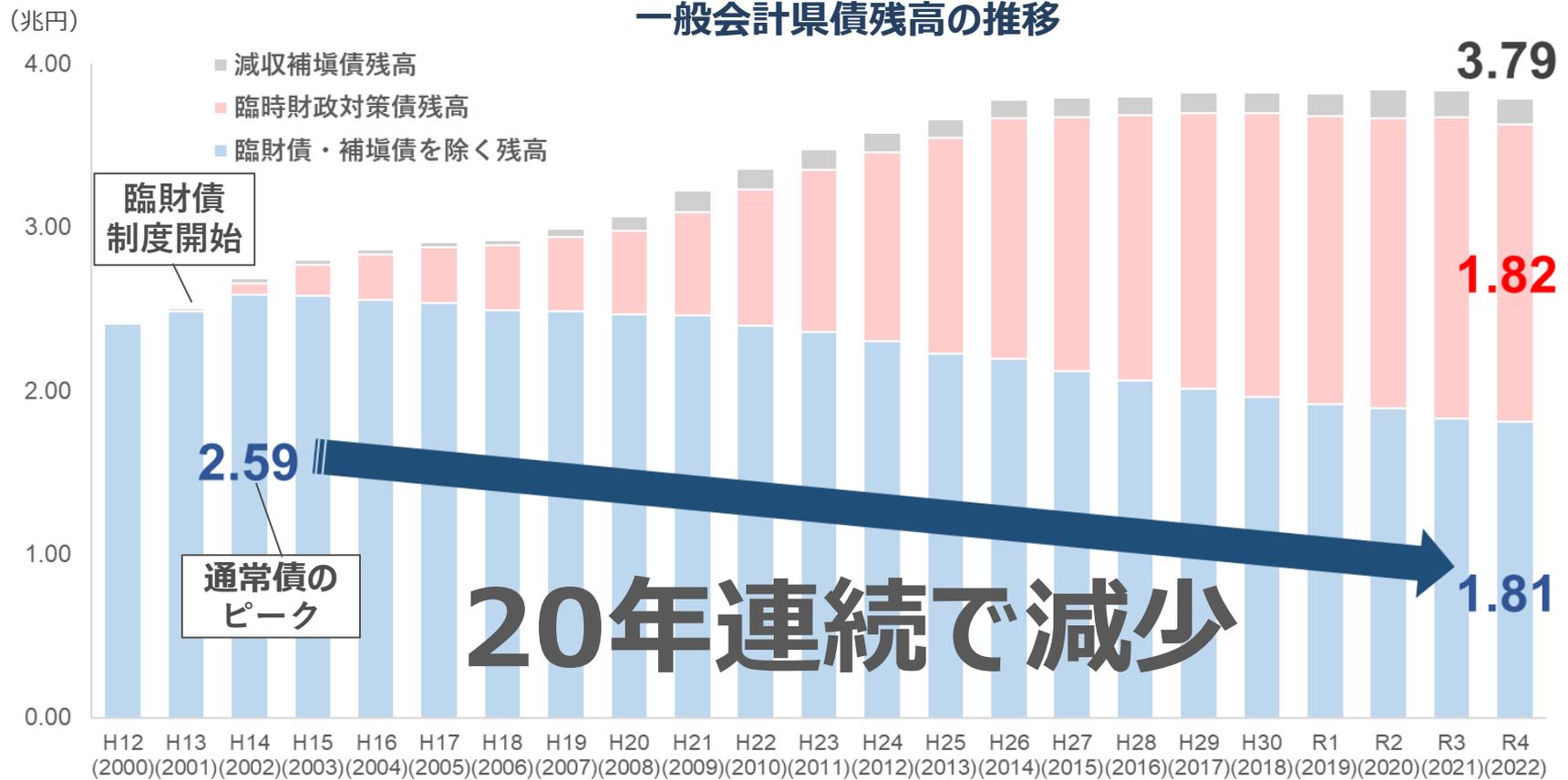


※ 市場公募債資金以外を含む

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある

県債残高の適正な管理

- 令和4年度末の県債残高は対前年度519億円減の3兆7,861億円となる見込み
- 臨時財政対策債などを除いた県で発行をコントロールできる県債残高は**20年連続で減少**
- 県民1人当たりの県債残高は約52万円で全国**5位**※の低い水準 ※令和2年度普通会計決算ベース

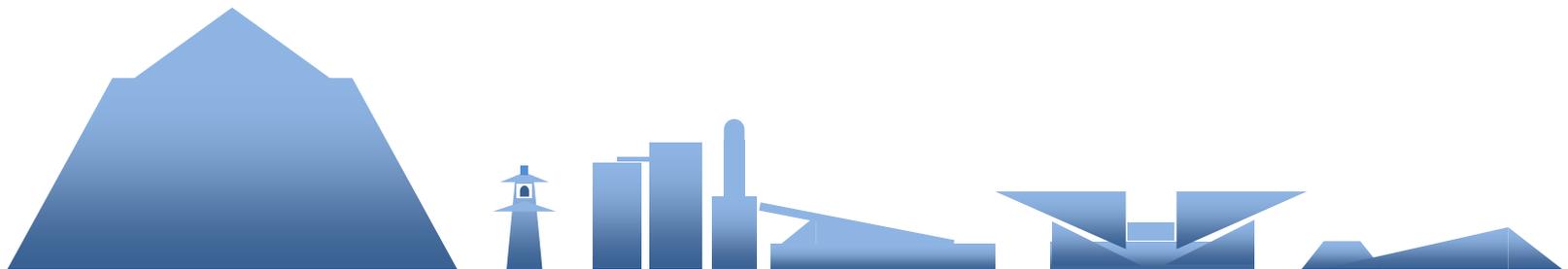


※ R2まで決算ベース、R3は2月補正予算ベース、R4は当初予算ベース

1 埼玉県の概要

2 埼玉県の財政状況

3 起債運営の基本的な考え方



Mt. Buko

Kawagoe Bell Tower
"Toki-no-kane"

Saitama Shintoshin

Saitama Super Arena

Saitama Stadium 2002

Sakitama Ancient Burial Mounds
"Sakitama Kohun-gun"

埼玉県民間資金調達基本方針

安定的な資金調達

1 市場公募債の発行額の確保と発行ロットの維持



2 市場環境、投資家需要を踏まえた年限の多様化と機動的な発行



3 オンラインなど新たなIR手法を活用した丁寧な市場との対話



4 持続可能な埼玉県債市場の形成につながる投資家層の拡大



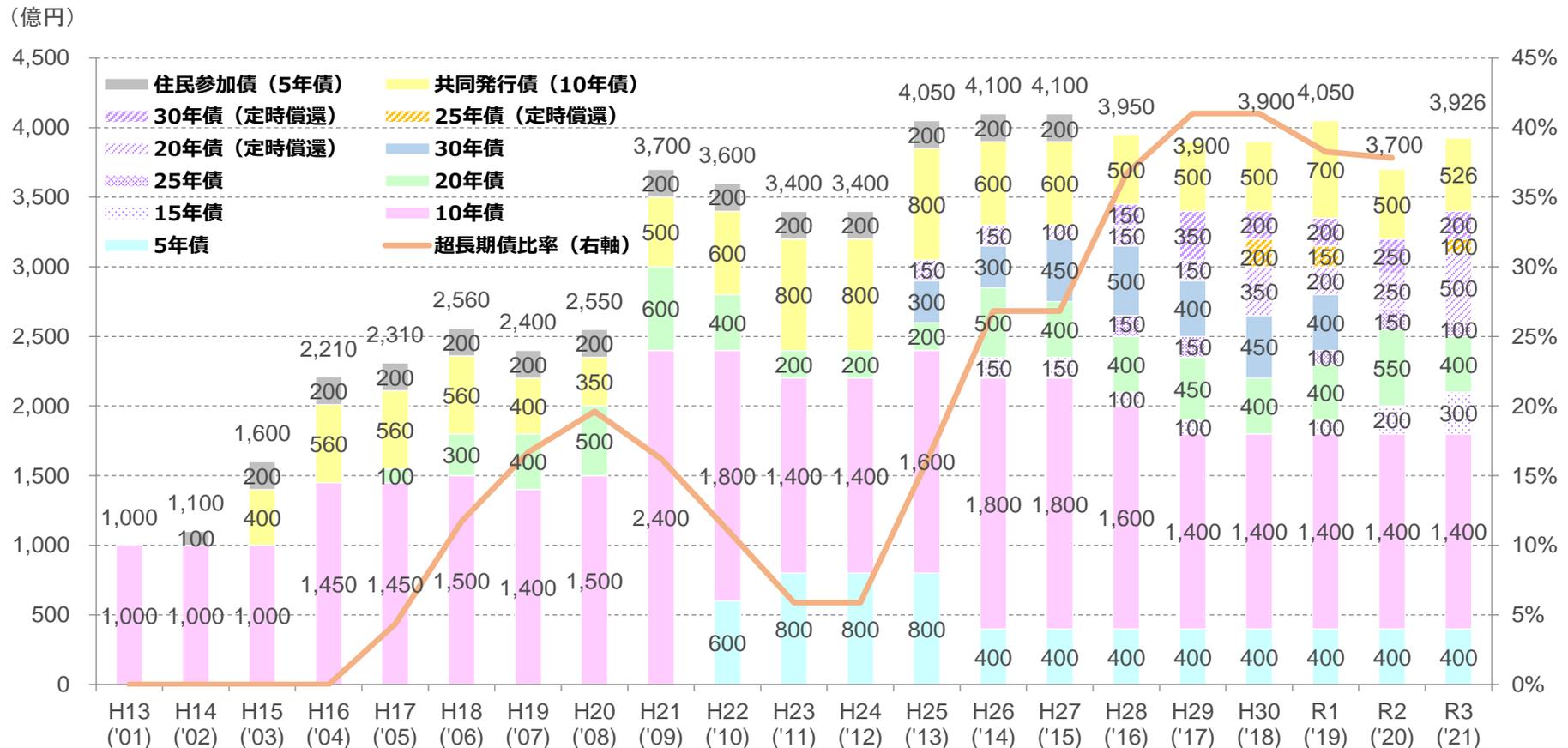
5 公債費縮減につながる発行方式の多様化



市場公募債年度別発行額

- 資金調達の市場公募化を推進し、発行額は平成25年度以降毎年度**4,000億円程度**を確保
- 平成26年度からは**フレックス枠**を設定し、多様な年限で超長期債を発行

市場公募債年度別発行額（過去20年間、カレンダーベース）



※ 一般会計以外の借換債等を含む。以下の表も同じ

令和3(2021)年度市場公募債発行実績

- 10年債・5年債は年間を通じて安定的に発行
- 20年債は上期・下期の年2回発行、フレックス枠を活用し発行額を増額
- フレックス枠を活用して、多様な年限(15年債、25年債、20年・25年・30年定時償還債)を機動的に発行

(単位：億円)

	令和3年										令和4年			計	
	4月	5月		6月	7月		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
10年債	200 0.204% C+8.0bp	200 0.145% C+7.0bp		200 0.150% C+6.0bp	200 0.115% C+6.0bp			200 0.105% C+6.0bp	200 0.125% C+6.0bp		200 0.130% C+6.0bp				1,400
5年債	200 0.010% —				200 0.005% —										400
20年債		100 0.482% C+3.0bp									100 0.476% C+1.0bp				200
フレックス 枠	(15年) 200 0.367% C+6.0bp	(20年) 100 増額	(20定) 200 0.261% T+17bp	(30定) 200 0.413% T+13bp		(25年) 100 0.546% C+3.0bp	(25定) 100 0.253% T+14bp			(15年) 100 0.344% C+4.5bp	(20定) 300 0.219% T+15bp	(20年) 100 増額			1,400
共同債 (10年)				100 0.145% C+6.0bp			100 0.070% C+6.0bp				100 0.145% C+6.0bp		100 0.179% C+6.0bp	100 0.199% C+6.0bp	500
共同債 (1年)	26 0.001% —														26
計	626	800		300	600		100	200	300	400	400	100	0	100	3,926

※「定」：定時償還債

共同発行市場公募地方債 **Joint Local Government Bond**

全国型市場公募地方債を発行する地方公共団体が地方財政法第5条の7に基づき共同して発行する債券。
平成15年4月から毎月発行。令和4年度は37団体が参加し、全団体が年間発行額全額について連帯債務を負う。
地方債であり非常に安全性の高い債券。埼玉県は創設時からのメンバー。

1 償還期間・利払方法

10年満期一括償還・年2回利払の固定利付債。

2 令和4年度の発行規模

令和4年度の発行総額は1兆2,000億円。
毎月、ほぼ一定の額（1,000億円程度）が発行され、発行ロットが大きいことから、流動性が高い債券。

3 募集期間

募集期間は、毎月上旬の発行条件決定日から同月中旬まで（休日等の関係で回号により異なる）。

4 発行日・利払日

発行日・利払日は、次のとおり。

- 発行日→毎月25日
 - 利払日→発行月に関わらず、2月と8月の25日
- ※ 発行日、利払日が銀行休業日に当たる場合には、その前銀行営業日となります。

5 連帯債務方式

地方財政法第5条の7に基づき、37団体が毎月連名で連帯債務を負う方式で発行。

6 流動性補完措置

ファンドを設置し、共同発行市場公募地方債の発行団体に万一の災害等が発生した場合であっても期日どおりの支払に万全を期している。
具体的には、37団体合計で、その年度において最も元利金支払額が多い月の元利金支払額の1/10程度の額を募集受託銀行に預け入れている。

共同発行37団体

北海道	宮城県	福島県	茨城県	埼玉県	千葉県
神奈川県	新潟県	福井県	長野県	岐阜県	静岡県
愛知県	三重県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
岡山県	広島県	徳島県	熊本県	大分県	鹿児島県
札幌市	仙台市	千葉市	川崎市	新潟市	静岡市
浜松市	京都市	大阪市	神戸市	広島市	北九州市
福岡市					

出典：共同発行市場公募地方債リーフレット

令和4 (2022) 年度市場公募債発行実績・計画

- 長期債の10年債、中期債の5年債は、月初にシ団・プレマーケティング方式で定例的に平準発行
- 20年債、フレックス枠は主幹事方式による起債とし、市場環境や投資家ニーズに応じて柔軟に発行

(単位：億円)

	令和4年									令和5年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
10年債	200 0.274% C+6.5bp	200 0.304% C+6.0bp		200 0.369% C+12.0bp						200		200	1,000
5年債	200 0.075% C+5.5bp				200 0.065% C+9.0bp								400
20年債		100 0.791% C+2.0bp											100
フレックス枠		(20定) 100 0.408% T+14.0bp	(10年) 100 0.314% C+7.0bp			(ESG) 150 0.379% T+14.0bp				550			900
共同債 (10年)			100 0.309% C+6.0bp		100 0.315% C+12.0bp			100		100			400
計	400	400	200	200	300	150	0			1,150			2,800

※ 20年債及びフレックス枠は発行時期が未定。発行時期・年限・金額等は変更となる場合がある

埼玉県ESG債の発行概要

埼玉県ESG債

環境(E: Environment)、社会(S: Social)、ガバナンス(G: Governance)

サステナビリティボンド

グリーンプロジェクト

(環境問題の解決)

ソーシャルプロジェクト

(社会的課題の解決)

【サステナビリティボンド・ガイドライン 2021(国際資本市場協会※)による定義】
サステナビリティボンドとは、調達資金の全額がグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに充てられる債券である。

※国際資本市場協会(ICMA) : 世界の金融機関等が加盟する国際機関

発行概要

愛称

埼玉県ESG債

年限

10年債(満期一括債)

発行額

150億円

発行月

令和4年9月

フレームワーク外部評価の取得

< 評価 > 株式会社日本格付研究所 (JCR)

< 評価結果 > **SU1(F)** 令和4(2022)年8月8日【取得】

< 評価対象 > **埼玉県サステナビリティファイナンス・フレームワーク**

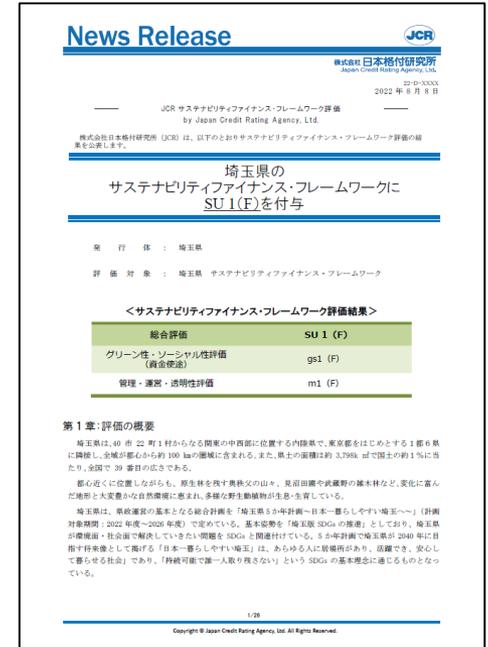
< 評価1：グリーン性・ソーシャル性評価 >

- 本フレームワークの資金使途の100%がグリーンプロジェクトまたはソーシャルプロジェクトであると評価し、**最上位である『gs1(F)』**とした。

< 評価2：管理・運営・透明性評価 >

- 管理・運営体制がしっかり整備され、透明性も非常に高く、計画どおりの事業の実施、調達資金の充度が十分に期待できると評価し、**最上位である『m1(F)』**とした。

※株式会社日本格付研究所による評価書の抜粋



【JCR サステナビリティファイナンス・フレームワーク評価マトリックス】

		管理・運営・透明性評価				
		m1(F)	m2(F)	m3(F)	m4(F)	m5(F)
グリーン性・ ソーシャル性 評価	gs1(F)	SU 1(F)	SU 2(F)	SU 3(F)	SU 4(F)	SU 5(F)
	gs2(F)	SU 2(F)	SU 2(F)	SU 3(F)	SU 4(F)	SU 5(F)
	gs3(F)	SU 3(F)	SU 3(F)	SU 4(F)	SU 5(F)	評価対象外
	gs4(F)	SU 4(F)	SU 4(F)	SU 5(F)	評価対象外	評価対象外
	gs5(F)	SU 5(F)	SU 5(F)	評価対象外	評価対象外	評価対象外

「安心・安全の追究」につながる主な充当事業

グリーンプロジェクト

災害・危機に強い埼玉の構築

治水・治山対策の推進

◆ 埼玉版流域治水対策の推進

河道や砂防関係施設の整備等を集中的に行い「防災力」を高めるとともに、水害リスク情報の充実など「減災力」も高める施策を進める「流域治水」を、あらゆる関係者との協働により推進する。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川における河道掘削や調節池の整備、流域における雨水貯留浸透施設の設置
- 堤防構造の強化対策の推進



河道掘削



調節池整備

「いのちとくらしを守る土砂災害対策」の推進

- 砂防堰堤や法枠工などの砂防関係施設の整備



砂防堰堤

「持続可能な成長」につながる主な充当事業

グリーンプロジェクト

豊かな自然と共生する社会の実現

みどりの保全と創出

◆身近な緑の保全

市町村との協働により「ふるさとの緑の景観地」や「県立自然公園」などの緑地を公有地化する。



◆森林の循環利用促進

再造林、搬出間伐等の面積を拡充し「伐って・使って、植えて、育てる」森林の循環利用を促進する。



コンテナ苗の植栽



搬出間伐

儲かる農林業の推進

林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

◆森林・林業基盤の整備

森林管理道を整備することにより、適切な森林整備の推進と林業経営の効率化を図る。

また、山村地域の生活道や災害時の迂回路としての機能を確保する。



森林管理道の開設



木材の搬出

「安心・安全の追究」につながる主な充当事業

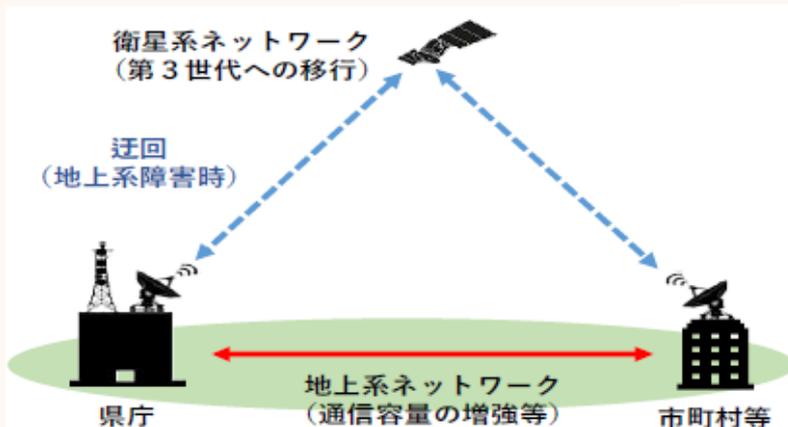
ソーシャルプロジェクト

災害・危機に強い埼玉の構築

危機管理・防災体制の再構築

◆ 防災行政無線の機能強化

大規模災害等における情報収集・伝達手段の強化を目的とした衛星系防災行政無線の再整備及び地上系防災行政無線の改修を実施する。



大地震に備えたまちづくり

◆ 橋りょうの耐震補強・更新

大規模地震の発生に備え、橋りょうの耐震補強や計画的な修繕を行う。



耐震補強



橋りょう修繕

◆ 無電柱化の推進

災害時の緊急車両等の通行空間を確保するため、無電柱化を推進する。



無電柱化

「誰もが輝く社会」につながる主な充当事業

ソーシャルプロジェクト

子育てに希望が持てる社会の実現

児童虐待防止・社会的養育の充実

◆児童相談所の整備・機能強化

熊谷児童相談所(一時保護所併設)を整備(令和5年度開所予定)する。

また、朝霞市内に開所する県設置8番目の児童相談所(一時保護所併設)の新設整備(令和7年度開所予定)などを行う。



※熊谷児童相談所イメージ

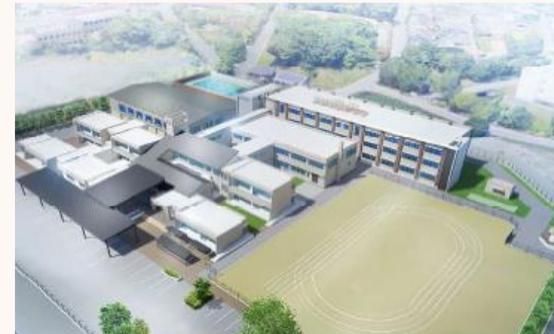
未来を創る子供たちの育成

質の高い学校教育の推進

◆特別支援学校の整備

特別支援学校における児童生徒の増加に対応するため、新たな特別支援学校の設置を行うとともに、既存校における教育環境を整備する。

- ・ 岩槻はるかぜ特別支援学校の設置
- ・ 高校内分校の設置 6校
- ・ 校舎の増築 3校



※岩槻はるかぜ特別支援学校イメージ

県債のIR、受賞等

知事 I R

- 「県政運営の基本方針」や埼玉県ESG債発行をテーマに、知事自らが説明する動画を配信

第一部「県政運営の基本方針2022」



出演者：大野元裕知事
司 会：株式会社テレビ埼玉 塩原桜アナウンサー

第二部「埼玉県ESG債の発行」



出演者：大野元裕知事
株式会社野村資本市場研究所 江夏あかね
野村サステナビリティ研究センター長
司 会：株式会社テレビ埼玉 塩原桜アナウンサー

第三部「埼玉県の財政状況と起債運営の基本的な考え方」



出演者：埼玉県企画財政部財政課 都丸久課長
司 会：株式会社テレビ埼玉 塩原桜アナウンサー

※ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0103/saitamakensai/kensai-ir.html>

受賞等

平成28(2016)年度
「DealWatch Awards2016」 地方債部門 **"Issuer of the Year"**
「キャピタル・アイ Awards "BEST DEALS OF 2016"」
 地方債等部門 **"BEST ISSUER OF 2016"**
"BEST DEAL OF 2016"
「ディール・オブ・ザ・イヤー2016（日経ヴェリタス）」
 地方債ベスト 1位

埼玉県第1回25年公募公債
発行日 平成28(2016)年10月28日

平成27(2015)年度
「キャピタル・アイ Awards "BEST DEALS OF 2015"」
 地方債等部門 **"BEST DEAL OF 2015"**

埼玉県第3回公募公債(20年・定時償還)
発行日 平成28(2016)年1月26日

インターネットIR情報、お問い合わせ先等



県ホームページにて、「市場公募債発行予定・実績」「県債の格付け」「インターネットIR・関連資料」「財政情報」など、最新情報を公開しています。

『新型コロナウイルス感染症対策推進基金』への寄附 ～最前線で奮闘する医療従事者を応援しよう～

県では、自らの感染リスクを抱えながら、昼夜を問わずコロナ対策で奮闘されている医療従事者の方々を支援するための寄附を受け入れています。

➡ 県ホームページにて、「コロナ 寄附金」で検索

お問い合わせ先

埼玉県企画財政部財政課 民間資金担当

電話：048-830-2178

Eメールアドレス：a2150-01@pref.saitama.lg.jp



ありがとうございました。

埼玉県のマスコット「コバトン(左)」と「さいたまっち(右)」



※ 本日の説明の中でお示した将来の見通し等については、現時点で一定の条件の下に推計したものです。